

令和2年12月17日に開催した「霊山地域小中学校適正規模・適性配置に係る懇談会」でお話ししました適正規模・適正配置基本計画の今後の進め方についての説明内容をわかりやすく再構成しました。

開催日時：令和2年12月17日（木）19時～20時30分

場 所：霊山中央交流館 1階 ホール

出席者：霊山地域小中学校長、霊山地域小中学校PTA役員

霊山地域の適正規模・適正配置計画の進め方

○適正規模・適正配置計画の基本的な考え方について

・伊達市教育委員会では伊達市教育大綱を策定し、学校教育において「困難な状況にあっても、たくましく、しなやかに生き抜くことのできる『生きる力』」を子どもたちに身につけさせることとしています。

・具体的には「生きる力」として①自ら課題を発見し解決する力、②周囲と対話し協調できるコミュニケーション能力、③読書力を向上させることで養える多様な考察力、④必要な情報を取捨選択できる情報活用力等の育成を目指しています。

・伊達市においては児童数の減少により学校の小規模化が進行し、一人ひとりの能力や特性に合ったきめ細かな指導が行いやすい反面、グループ活動、習熟度別学習、教科担任制、専科教員による指導など多様な学習・指導形態を取りにくいという傾向が見られます。

・子どもたちに「生きる力」を身に付けさせるには、多様な意見に触れるとともに、それを基に自らを見つめなおすことができる、一定程度の規模が必要であると考えます。

したがって伊達市においては適正規模・適正配置計画に基づき、複式学級の解消に取り組んでいるところです。

○今後の計画の進め方について

・適正規模・適正配置計画に基づき、令和2年2月の説明会で、霊山地域は、中学校、小学校それぞれ1校とし、小学校統合により新しい学校を創ると述べてきました。

・具体的には、「霊山の新しい教育（案）」で示している小中一貫教育を進めます。

・小中一貫教育のスタートは、小学校の統合時とし、それまでは可能な取組みを進めます。

・霊山地域内の小・中学校交流会は統合前においても、年3回程度は継続して実施します。

・小国・石田小学校の個々の事情も理解していますが、児童のこれからの望ましい教育環境実現のため、ご理解いただき2校同一時期での統合に是非とも協力をお願いいたします。

・各小学校で意見がありました「校名変更、制服等」については、2校同時統合であれば、保護者・学校・地域の皆さんの代表者で組織する設立準備委員会等での検討を考えています。

⇒現時点では、2校同時でなければ、校名等の検討は困難と考えます。

（大石小学校の統合時と同じです。）

・小国・石田小学校の保護者の皆様には、令和3年2月末を目途に統合に対する考え方をお知らせください。